

平井 祐理

(スポーツ健康科学部)

「企業×データ利活用」DX



一人ひとりがよりよく生きる Well-being な社会を実現するためには、産業界も大きな一翼を担っています。IoT、ビッグデータ、AI、ロボットといった新たなデジタル技術の台頭により企業を取り巻くビジネス環境が大きく変化している中、あらゆる産業の企業が Society 5.0 の実現に向けて DX を推進しています。現在の研究では、DX を成功に導く組織能力とはどのようなものか、またそのような組織能力は企業においてどのように醸成されるのかという問いに取り組んでいます。加えて、このようなデジタル化が進む社会では、企業の枠を越えてデータをやりとりし、経済社会全体としてよいものをつくり上げることが求められます。そのためには企業や業界の垣根を越えた連携が不可欠であり、このようなオープンイノベーションに関する研究も行っています。



所属

スポーツ健康科学部

研究テーマ

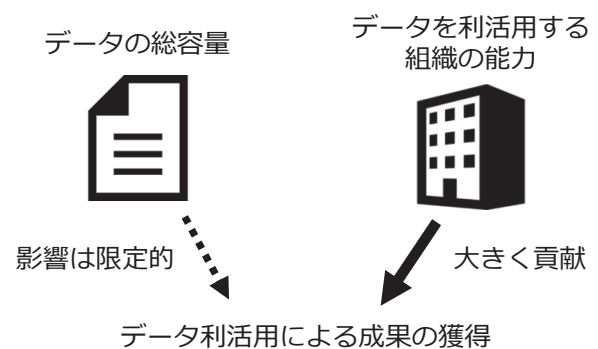
- 企業におけるデータ利活用に関する研究
- オープンイノベーションに関する研究
- 大学発ベンチャーに関する研究

キーワード

データ利活用、オープンイノベーション、大学発ベンチャー、ナレッジマネジメント、技術経営

日本企業におけるデータ利活用

データ利活用による成果の獲得に影響を与える要因を明らかにすることを目的として、日本企業約 6,000 社を対象としたアンケート調査を実施しました。分析の結果、データを多量に保有していることが一様に企業の競争力に結び付くとは限らず、データを使いこなす能力を組織として整備することが肝要であることが示唆されました。



平井祐理, 立本博文, 生稲史彦. (2022). 日本企業におけるデータ利活用に関する質問票調査：上場企業と非上場企業の差異に着目して. 日本知財学会誌, 18(3), 5-17.